

例示であるということになろう。

今回の出版にも、図書出版みぎわの堀郁夫さんにお世話になった。勉強出版、春陽堂書店に引き続き、四冊目である。私以上に私の書くものをよくご存じである。今回も、このようなわがままな本の出版を叶えてくださり、本当にありがとうございます。うございました。

また、最初の批評と校正は、例の如く妻の手を煩わせた。いつもながらありがとう。

この本をきっかけに、読者の皆さんが何らかの方法で異界に遊んでくださるとを心より願っています。

二〇一三年九月一七日

※なお、第一章「近代にむける海外……森鷗外「舞姫」の項には、

「舞姫」と「新浦島」——異界どの往還」〔鷗外研究〕二〇〇四年九月）の

一部を改稿して用いた。